

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	骨折総論	
科目基礎情報							
開設学科	柔道整復科		コース名		開設期	後期	
対象年次	1年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	2単位		開講時間	火曜1時限目～		授業形態	講義
教科書/教材	教科書（柔道整復理論編 一般社団法人 全国柔道整復学校協会 監修一）に準拠する。						
担当教員情報							
担当教員	宮本 功三			実務経験の有無・職種	有・柔道整復師		
学習目的							
骨折とは、骨組織の連続性が完全にあるいは部分的に離断された状態をいう。骨損傷は損傷した骨自体が正常であるか病的であるかによって分類し、骨折であれば外傷性骨折と病的骨折とに分けられる。柔道整復師が扱う骨損傷は主に外傷性のものであるが、骨損傷を取り巻く環境が変化しているため、多種にわたっての知識が必要になる。そのため、この科目を受講する学生は、外傷性骨折の基礎となる部分を理解することの他に病的なものの疲労的なものなどを理解することがねらいである。							
到達目標							
骨折総論の理解や探求する力を身につけるために、自発痛、限局性圧痛、介達痛といった疼痛や腫脹、機能障害といった一般外傷症状や異常可動性や軋轢音などの固有症状といった症状を理解すること。骨折の合併症である骨折を起こした外力や骨片転位などで発生する併発症、骨折治療の経過中に骨折の影響や治療法の不備などで発生する続発症、治療終了後も永続的に障害を残す後遺症を理解すること、小児や高齢者の骨折を理解することを到達目標とする。							
教育方法等							
授業概要	柔道整復学の基本的なものであり、骨折線の入り方や折れ方、合併症などを理解し、整復操作、危険性などに用いることができる学問である。骨折総論に関しての基礎知識を習得する。						
注意点	学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	100%	試験と課題を総合的に評価する				
	小テスト	0%					
	レポート	0%					
	成果発表 （口頭・実技）	0%					
	平常点	0%					
授業計画（1回～15回） 1回（ 2 ）時間 ※45分を1時間とする							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	骨損傷について			骨の形態や機能、構造について理解する。			
2回	骨折の分類(1)			骨の性状による分類、骨損傷の程度による分類を理解する。			
3回	骨折の分類(2)			骨折線による分類、創部との交通の有無による分類を理解する。			
4回	骨折の分類(3)			骨折の数、外力の働いた部位による分類、外力の働き方による分類を理解する。			
5回	骨折の症状(1)			骨折の局所症状を理解する。			
6回	骨折の症状(2)			骨折の固有症状を理解する。			
7回	骨折の合併症(1)			併発症、続発症を理解する。			
8回	振り返り(1)			1回～7回までの振り返り			
9回	骨折の合併症(2)			後遺症を理解する。			
10回	小児骨折			小児骨折の特徴を理解する。			
11回	高齢者の骨折			高齢者骨折の特徴を理解する。			
12回	骨折の癒合日数			各部位での骨折の癒合日数を理解する。			
13回	骨折の治療経過			骨折が起こってから治るまでの過程を理解する。			
14回	骨折の予後			骨折の治療に影響を与える因子を理解する。			
15回	振り返り(2)			9回～14回までの振り返り			